

【平成30年上半期の火災発生状況(対前年比)】

		(単位：件)		
		平成30年	平成29年	前年比
冬 季 (1~3月)	建物火災	14	11	3
	林野火災	1	0	1
	車両火災	1	4	-3
	その他の火災	10	12	-2
	小 計	26	27	-1
春 季 (4~6月)	建物火災	8	9	-1
	林野火災	0	0	0
	車両火災	1	3	-2
	その他の火災	3	9	-6
	小 計	12	21	-9
合 計	38	48	-10	

火災発生状況

ことしの1~6月に市内で発生した火災件数は38件でした。火災種別では、「建物火災」が22件、「林野火災」が1件、「車両火災」が2件、「その他の火災」が13件でした。昨年の同時期と比べると、合計で10件減少していますが、「建物火災」は2件増加しています。また、平成29年に発生した火災の出火原因で最も多かったのは「たばこ」で9件、次いで「放火」が8件、「放火の疑い」「こんろ」が各6件でした。

防火対策について、各家庭でもう一度、確認してみましょ。う。

家庭での防火対策は
できていますか？



富士市消防防災
キャラクター「ふじ坊」

上位の出火原因から

我が家を守る対策のポイント

家庭内で次の4つの防火対策に努めましょ。う。

第1位 たばこ(9件)

寝たばこは絶対にしてない。

しっかりと火を消してから吸い殻を捨てる。

灰皿の吸い殻はこまめに捨てる。

第2位 放火(8件)

第3位 放火の疑い(6件)

家の周りに燃えやすい物を置かない。

家の周りを整理整頓して、必ず施錠する。

照明を点灯し、家の周りを明るくする。

ごみは、収集日の決められた時間に出す。

第3位 こんろ(6件)

火を使ったまま、その場を離れない。

こんろの周りに燃えやすい物を置かない。

調理中は衣服に火がつかないように注意する。

夏休み・番外編 子どもの火遊び

子どもだけで花火をさせない。

マッチやライターを子ども手の届かないところに保管する。

火の正しい使い方や、火の恐ろしさを教える。



【問い合わせ】

消防本部予防課

TEL (55) 285199 FAX (53) 4633



シンボルマークを知って避難をよりスムーズに！

皆さんはこのマークにどんな意味があるかご存じですか。これは避難口であることを表す消防設備のシンボルマークです。
買い物先のお店、旅行先のホテルなどで、火災に遭遇したら、皆さんはスムーズに避難できますか？もしものために、お出かけ先ではぜひ、このシンボルマークの確認をお願いします。



【火災に遭遇！発見したら！】



火災などの非常事態に知っておきたい対応策を紹介します。いざというときに慌てないため、家族で確認しておきましょう。

火災初期の対応3原則

- 1 大声で知らせる
「火事だ！」と大声で叫び、隣近所に知らせる。
- 2 初期消火をする
水や消火器、座布団で火をたたくなど手近なものを活用。
- 3 早く逃げる
避難するときは、燃えている部屋の窓などを閉めて、空気を遮断。



安全に避難する5つのポイント

- ①消火の限界 天井に火が燃え移ったら、すぐ避難
- ②命が大切 服装などにはこだわらない
- ③低い姿勢 煙の中ではできるだけ姿勢を低く
- ④戻らない 屋外に出たら、再び中には戻らない
- ⑤知らせる 逃げ遅れた人を、消防隊にすぐ知らせる

